

# 次世代社会に向けた 環境調和型キャンパスの構築

— 自治体のカーボンニュートラルにおける調整力利用の重要性 —

2022

**2/28** MON

**15:30 – 17:00**

会場 **オンライン開催**

お問い合わせ

京都大学施設部環境安全保健課サステイナブルキャンパス推進室  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL:075-753-2365 FAX:075-753-2355  
E-mail:sc-symposium@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

**参加  
無料**

参加登録

事前にオンライン参加登録、  
登録完了後ウェビナー参加URLを送付

<http://www.esho.kyoto-u.ac.jp/sympo2022/index.html>



01 [ **カーボンニュートラル実現に向けた  
分散型エネルギーリソースを活用した取り組み** ]

経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギーシステム課 / 課長補佐 **中島 亮**

02 [ **京都市の脱炭素社会構築に向けた取り組み** ]

京都市 環境政策局 地球温暖化対策室 /  
計画・気候変動適応策推進係長 **藤田 将行**

京都市 産業観光局  
産業イノベーション推進室 **原 佑輔**

03 [ **エネルギー需要起点の  
カーボンニュートラルに向けた地域VPPモデル** ]

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター  
シニアスペシャリスト **瀧口 信一郎**





2013年より毎年開催してまいりました京都大学の「サステイナブルキャンパス構築」シンポジウムは、インターネットによるライブ形式で今回は8回目の開催を迎えることになりました。本シンポジウムはこれまで、持続可能な大学キャンパス構築に向けた、全国の大学教職員・学生、学内外の施設等関係者による取組についての情報交換の場、最新事例の紹介の場として開催してまいりました。

地球規模の省エネルギー対策や再生可能エネルギー活用の一層の推進が求められており、サステイナブルキャンパス構築の流れが世界の潮流となっている現在、本学においても、再生可能エネルギー導入による、より高度な省エネルギー化とエネルギーの地産地消を目指し、環境負荷低減に資する取組を継続的に実施してきております。また近年は、記録的な猛暑や地震、台風、集中豪雨といった自然災害が頻発しており、電力をはじめとする社会インフラに、甚大な被害をもたらす事態も招いています。カーボンニュートラルを実現させるとともに、この

ような自然災害に柔軟に対応できるような施設整備の必要性についても、議論が高まっております。

今回のシンポジウムは、「次世代社会に向けた環境調和型キャンパスの構築」をテーマに、「自治体のカーボンニュートラルにおける調整力利用の重要性」に焦点を当て、当分野に造詣の深い専門家の方々からご講演をいただきます。オンライン形式ですが質疑応答の時間も設けておりますので、どうか奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本シンポジウムが持続可能な大学キャンパスに向けた、新たな取組を生み出す契機となれば幸いに存じます。

京都大学環境安全保健機構長 吉崎 武尚  
京都大学施設部長 富田 大志

## プログラム

司会 松井 康人  
京都大学環境安全保健機構 教授

- 15:30~15:35 **開会挨拶** 村中 孝史(京都大学 プロポスト 理事・副学長/戦略調整、企画、学生、環境安全保健担当)
- 15:35~16:20 **講演1** 中島 亮(経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課/課長補佐)  
「カーボンニュートラル実現に向けた分散型エネルギーリソースを活用した取り組み」
- 講演2** 藤田 将行(京都市 環境政策局 地球温暖化対策室/計画・気候変動適応策推進係長)  
原 佑輔(京都市 産業観光局 産業イノベーション推進室)  
「京都市の脱炭素社会構築に向けた取り組み」
- 講演3** 瀧口 信一郎(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター/シニアスペシャリスト)  
「エネルギー需要起点のカーボンニュートラルに向けた地域VPPモデル」
- 16:20~16:55 **パネルディスカッション**
- 16:55~17:00 **閉会挨拶** 吉崎 武尚(京都大学環境安全保健機構長)

講演  
1



経済産業省資源エネルギー庁  
省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギーシステム課/課長補佐

**中島 亮**

東京大学大学院総合文化研究科修了。経済産業省資源エネルギー庁新エネルギーシステム課にて、蓄電池等の分散型エネルギーリソースの活用推進やアグリゲーションビジネスの発展に向けた取り組みに従事。

講演  
2



京都市 環境政策局 地球温暖化対策室/  
計画・気候変動適応策推進係長

**藤田 将行**

京都工芸繊維大学繊維学部卒。京都市役所入庁後、地球温暖化対策に関する普及啓発や環境モデル都市の取組の担当を経て、京都市地球温暖化対策条例の改正や実行計画の策定・推進業務に従事。

講演  
3



株式会社日本総合研究所  
創発戦略センター  
シニアスペシャリスト

**瀧口 信一郎**

京都大学理学部を経て93年同大学院人間環境学研究科修了。テキサス大学MBA(エネルギーファイナンス専攻)。著書「脱炭素で変わる世界経済」、「ソーラー・デジタル・グリッド」(共著)など